



ESCO News Letter

第4巻 第2号

発行日 2015年2月6日

収束宣言を 確実なものに！ EMS-Q ラットセンサー登場

工場内にそ族の生息・侵入がないことを監視・確認する方法としては、一般的に下記のような方法が挙げられます。

1. 粘着トラップで捕獲がないこと
(捕獲ゼロの確認)
2. 無毒餌の喫食がないこと
3. 脱糞やそ穴などの生息痕がないこと
4. 目撃情報がないこと

これらの方法で工場の天井裏などすべてを監視するには、膨大なマンパワーとコストが必要となるため、監視ポイントを絞った「サンプリング」を行いますが、現実には下記のような問題点があります。

1. 粘着トラップの面積は、監視すべき面積と比較して非常に小さい
2. 天井裏のコーナー部でサンプリングを行いたくても、足場や点検口がないために確認ができない
3. 点検口から手の届く場所にしか粘着トラップや無毒餌を設置できない

4. 細いパイプや配線の上には粘着トラップが設置できず、ラットサインの確認しかできない

5. そ族は警戒心が強く、粘着トラップなどを避けてしまい捕獲できない

そ族は天井の中央を堂々と横切ることとはほとんどなく、サンプリング資機材を設置しにくい、壁面に沿った鉄骨部やチャンネル部などを、水平方向のみならず垂直方向にも簡単に移動することができます。そのため、点検口の増設やキャットウォークの設置など、ハード面の改善でお客様にご協力も頂いても限界があり、とても歯がゆい思いをすることが多々あります。

また、点検頻度も限られていることから、万が一そ族の侵入など異状が生じた場合、次の点検まで問題を把握することができず、原料や製品に被害が生じてしまう危険性も排除できません。



この号の内容

EMS-Qラットセンサー登場 1

ポイント①

定期点検を待たずに監視結果を速やかに報告

ポイント②

粘着トラップをはるかに超える面積を監視可能

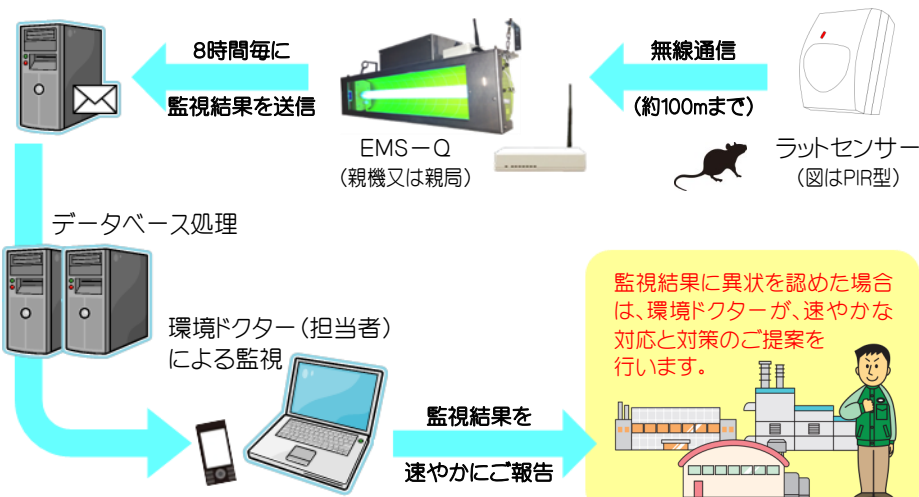
PIR型とAIR型、用途に合わせた2種類のセンサー

こんなとき、ラットセンサーが活躍します！

EMS-Q ラットセンサーで 従来方法の問題点を解決！

ポイント① 定期点検を待たずに監視結果を速やかに報告

EMS-Q(エムスキュービック)「ラットセンサー」のデータの流れ



各センサーの反応は1日3回、8時間毎に自動で弊社のサーバーに送信され、データベース内で自動的に監視を行います。

監視結果はリアルタイムに弊社の環境ドクター(担当者)にフィードバックされるので、従来のように次の点検時まで異状がわからなかった、というトラブルを防止するだけでなく、異状発生時にはスピーディーに対応することが可能となりました。

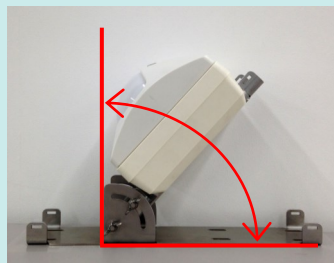
設置場所を
選びません

様々な方向・角度を 監視可能です！

ステンレス製架台(エスコマルチ
ベース)を使用すれば、水平方向
だけでなく垂直方向にも設置が可
能です。



角度も自由に変更し、様々な場所を
容易に監視することが可能です。



従来のEMS-Qシリーズとの 同時使用も可能です！

EMS-Qラットセンサーは、従来のEMS
-Qシリーズ(捕虫センサー、ドア開閉
センサー、シャッター開閉センサー、差
圧センサー)と同時に使用することも
可能です。

※ センサー単体での販売は行っており
ません(監視には、弊社サーバーの
利用が必要です)。弊社では、THC
(トータルヘルスケアシステム)の一環
としての監視を強くお勧めいたしま
す。詳細はお気軽にお尋ねください。

アース環境

総合環境衛生管理で
社会に貢献します

無断複写・複製はご遠慮下さい。

本件に関してのお問合せは、
03-3253-0640

ホームページもご覧ください

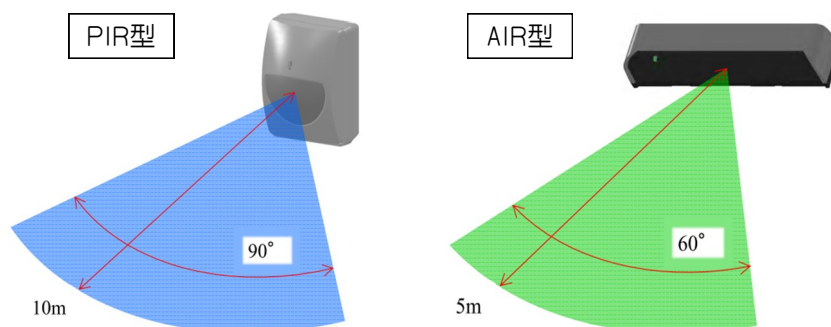
<http://www.earth-kankyo.co.jp/>

ポイント② 粘着トラップをはるかに超える面積を監視可能

センサー1台あたり、PIR型では左右90度の角度を見通し10m(約79㎡)、AIR型
では左右60度の角度を見通し5m(約13㎡)と、従来の粘着トラップとは比較にな
らないほど広大な面積を監視することができます。また、中継機能を利用すれ
ば、さらに監視面積を拡大することができます。

PIR型：中継器の利用で、約300m以内まで設置面積を拡大可能

AIR型：中継機能(本体内置)の利用で、約300m以内まで設置面積を拡大可能



警戒心が強く粘着トラップを避けてしまうそ族も、センサーなら検知しやすい！

PIR型とAIR型、用途に合わせた2種類のセンサー

PIR型	体温を検知するパッシブ型センサー (対象物と背景との温度差を検知)
	乾電池で駆動するため電源工事が不要、電源がない天井裏などにも容易に 設置が可能です。乾電池は3ヶ月間交換することなく連続使用が可能、乾電池 の電圧も遠隔で監視しているので電池切れの心配もありません。
AIR型	動きを検知するアクティブ型センサー (発光した光線の反射量の変化を検知)
	光線を使用するため設置環境の温度変化による誤検知が少ないという特徴 があります。

こんなとき、ラットセンサーが活躍します！

- ① 過去にそ族の問題が発生したが、現在は収束している
- ② 過去にそ族の問題が発生したことはないが、本当に生息や侵入がない
ことの確認を強化したい
- ③ できる限りの対策は行っているものの、突発的に侵入することがあり、
その傾向を素早く検知したい
- ④ 対策を行ったが、効果の確認を行いたい
- ⑤ そ族が侵入しているかどうか不明なエリアの確認を行いたい

そ族は発生や侵入の異状感知が遅れ
ると、昆虫類に比べ移動が広範囲なこ
ともあり、安易な対策では対応できなくな
ってしまいます。

また、高まる一方の消費者の品質に対
する要求に対応するために、製造現場に
はより確実な対策が求められています。

問題を未然に防ぐとともに、工場内でそ族
の問題が生じていないこと、もし問題が起
こっても素早く対策を取り、その後は確実
に収束していることを自信を持って説明
するために、EMS-Q(エムスキューピッ
ク)ラットセンサーは、大いに役立つツ
ールとなります。